講演論文（一般講演，シンポジウム）の書き方

電気　太郎＊，電子　次郎，情報　花子(○○○大学)

Preparation of Papers for Tokai-Section Joint Conference on Electrical, Electronics, Information and Related Engineering

Taro Denki, Jiro Denshi, Hanako Jouhou (○○○University)

１．まえがき

Table 1 Margins

|  |  |
| --- | --- |
| 上マージン | 30mm |
| 下マージン | 27mm |
| 左右マージン | 18mm |
| カラム間マージン | 7mm |
| カラム幅 | 83.5mm |

Table 2 Type sizes

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | サイズ | 行送り |
| 表題 | 14pt | 22pt |
| 著者名・所属 | 12pt | 18pt |
| 英文表題、著者名・所属 | 9pt | 14pt |
| 章タイトル | 10pt | 20pt |
| 本文 | 9pt | 14pt |
| 参考文献 | 8pt | 12pt |



Fig.1. An example of figures

一般講演の講演論文を執筆する際には、この見本に従って執筆してください。

２．令和７年度大会の注意点

原稿の投稿前に講演申し込みと参加費支払いが必要です。下記Webから手続きを行ってください。

<https://www.tokai-rengo.jp/>

申し込みと支払いの締め切りは、6月30日（月）23:00です。締め切り後は、一切の申し込みを受け付けません。

続いて、原稿を投稿してください。投稿はPDFファイルのみとし、紙面での投稿は受け付けません。投稿締め切りは、6月30日（月）23:00です。締め切り後は、一切の投稿を受け付けません。

原稿は標準で1ページ、かつファイルサイズは3 MB以下とします。ただし、ファイルサイズが3 MB以下であれば2ページ以上の原稿も受け付けます。

３．レイアウトと文字サイズ

＜3・1＞マージン　　原稿用紙は2カラム（2段組）とし、上下左右のマージン等は表1のとおりです（全ページ共通）。本文の字詰は、1行あたり26文字程度とします。

＜3・2＞配置　　表題等は、この見本に従って次の①～④の順序で記載し、本文を書き始めてください。文字サイズと行送りは、表2を参考にしてください。

①表題：第1～2行中央に2カラム通しで書く（第1行で済めば第2行目は詰める）。

②著者名・所属：表題の下を1行あけて、次の行から中央に2カラム通しで書く。講演者名の右肩に「＊」印を付ける。

③英文表題、氏名（所属）：著者名および勤務先の下を1行あけて、次の行から中央に2カラム通しで書く。

④本文：英文表題、氏名の下を1行あけて、次の行から書く。シンポジウム原稿の場合、2ページ目は上マージンに続いて第1行目から本文を書く。

＜3・3＞図表　　後述の表および図1を参考にしてください。また、図表の説明は、原則として英文で表記してください。

＜3・4＞文献　　本文末尾に通し番号を付けて一括記載し、本文中の該当個所に引用番号を付けてください。記載方法は、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年の順にしてください。

＜3・5＞英語論文は和文に準処してください。

＜3・6＞問合せ先

電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会事務局

TEL: 052-789-4505　E-mail: sec@tokai-rengo.jp

文　献

(1) P.E. Frayssines, et al.: IEEE Trans. DEI, Vol.9, No.6, pp.899-909, 2002.

(2) 八木　他：電気学会電力・エネルギー部門大会, No.423, 2002.